

授業科目名 (英訳)	熱帯農業生態学特論 Tropical Agricultural Ecology					担当者所属 職名・氏名	農学研究科/総合生存学館 教授・縄田 栄治				
配当学年	2・3 回生	単位数	2	開講年度 開講期	H27 前期	曜時間	月/2	授業形態	講義	使用言語	英語
【授業の概要・目的】											
東南アジアを中心に、熱帯地域の環境条件の特徴について解説した後、近年の営農体系の動態及び作物生産に関する諸問題を論ずる。テーマごとに受講者間のディスカッションを交えながら、授業を進める。											
【到達目標】											
熱帯地域の農業及び自然環境の基礎的知識を身につけ、さらに、熱帯地域の持続的農業発展及び農業環境問題に関する議論を深める力を涵養する。											
【授業計画と内容】											
熱帯地域の環境の特徴（3回）											
東南アジアを中心に、熱帯地域の気象の特性、特に降雨特性とその近年の変動及びその原因について説明を行う。また、熱帯地域の土壌特性に関する説明も行う。											
土地利用・営農動態（4回）											
東南アジア大陸部を中心に、さまざまな要因で近年急速に進行する土地利用・営農体系の変容とその気象との関係について、「集約化」と「多様化」をキーワードに詳細に説明を行う。											
農業資源の変化（4回）											
東南アジア大陸部を中心に、熱帯地域の農業資源とその特徴、近年の変化と土地利用・営農体系・農業生産との関係について、詳細な説明を行う。											
熱帯地域における持続的農業生産の今後（4回）											
東南アジア大陸部を中心とした、近年の土地利用・営農動態・農業資源の変化と気候変動の影響を総合的に分析した上で、熱帯地域における持続的農業生産の今後について、「食糧生産」と「環境保全」をキーワードに、説明を行う。											
【履修要件】											
学部で熱帯農業生態学（農学部資源生物科学科配当科目）を履修していることが望ましいが、必須ではない。											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
レポートおよび出席状況により評価する。授業中の授業への参加態度は、各回評価する。また、グループ発表を通じて、達成度を評価する。											
【教科書】											
講義プリントをはじめに配布する。											
【参考書等】											
「熱帯農学」（渡辺ら編）朝倉書店											
「農学・生態学のための気象環境学」（文字ら編）丸善											
「栽培システム学」（稲村編）朝倉書店											
「生物資源から考える 21 世紀の農学 第 1 巻 作物生産の未来を拓く」（山末編）京都大学学術出版会											

[授業外学習（予習・復習）等]

各時間、十分な予習・復習を期待する。また、すべての時間ではないが、グループ発表等を課題として課すため、そのための学習が必要となる。

[その他（オフィスアワー等）]

講義は映像資料を多く用い、教科書は指定せず、講義プリントを用意する。

講義での疑問点等があれば、縄田（nawata@kais.kyoto-u.ac.jp）までメールで連絡すること。その際、件名は「熱帯農業生態学特論疑問点・意見」とし、本文中に自分の学生番号・氏名を明記すること。

なお、本科目は「農学特別コースー食料・生命・環境の未来をになう人材育成」の指定科目であるため、コース学生が受講した場合、講義は英語で実施する。nawata@kais.kyoto-u.ac.jp